

Graminex 社の”花粉エキス G63”による ED への知見

横山博美 鈴木直文 西村良己
(神田医新クリニック)

花粉は次世代の植物の誕生に欠かせないものであり、豊富な栄養分(アミノ酸、ミネラル、ビタミン等)を含有しており、未知なる作用を秘めた物質である。当院は日本で最初の前立腺センターを開設するなど泌尿器科を中心に診療しているが、そのほとんどが男性患者であり ED についての相談を受ける機会が多い。その原因としては精神的ストレス、高脂血症、肝機能障害がほとんどである。これらの原因は抗酸化作用による血流改善およびアミノ酸による組織修復作用によって改善できるものと推測できる。今回我々は、花粉エキスが ED 改善サブリとして有効かを検討したので報告する。

【対象と方法】

当クリニックに ED 治療に来院された 15 名に 1 ヶ月から 3 ヶ月に亘り花粉エキス G63 を服用してもらい服用前と後において IIEF5 (国際勃起機能スコア) を記入してもらい効果を判定した。ただし、2 名は 1 ヶ月後来院しなかった為に効果判定より除外した。

花粉エキス G63 とはアメリカのオハイオ州にある Graminex 社が、自社の畑で、農薬を使用せず、遺伝子操作をしていないライ麦、とうもろこしの種を使用して栽培し、その花粉を原料としている(しかし雑草としてチモシー(日本ではおおあわがえりと言われている)の花粉も若干含まれる)。花粉は二重の殻からできており、強い耐酸性と耐熱性(300度でも破壊されない)の為に花粉を食べても消化・吸収ができないが、Graminex 社では特殊な技術を駆使して G60(水溶性栄養成分)と GFX(脂質溶解性成分)を別々に抽出した後、20:1の比率で複合化させ G63 という製品に仕上げ、それを提供してもらった。

1日6錠を朝、夕食後に3錠ずつ服用してもらった。1錠あたり250mgで花粉エキスを62.5mg含有する。(1日量・・・花粉エキスとして375mg)

【結果】

氏名	年齢	診察日	IIEF-5	合併症	本人談
I.K	60	前	2	D.M	
		1ヵ月後	2		今まで無かった朝勃が1回あった。便が緩くなった
T.Y	47	前	12		
		1ヵ月後	25		朝勃の硬さ、角度が明らかに違って来た。服用してから、1W後から効果あった。
S.A	73	前	6		
		1ヵ月後	10		硬さUpした。性的刺激で勃起した。
O.N	74	前	9	バイパス手術	
		1ヵ月後	20		服用前は7回のうち1回しかできなかったが、服用後は5回中4回できた
I.T	62	前	8		

		1ヵ月後	11		朝勃が増えた。多少良くなっている。
		2ヵ月後	13		朝勃が増えた。
		3ヵ月後	15		
S.I	68	前	5	糖尿病	ラチカゴールド(海蛇エキス)と併用
		1ヵ月後	21		良くなった。
S.A	60	前	5		
		1ヵ月後	7		少し良くなっている。
I.T	65	前	12		
		1ヵ月後	9		朝勃は増えた。多少良くなったかなという感じ。問2)3 2 5)3 1
T.T	50	前	13		
		1ヵ月後	13		軟便になった。1日2~3回行くときもあった。
MH	74	前	15		
		1ヵ月後	15		10~14日後より朝勃するようになった。性行為無のためスコアー変化無
K.A	47	4.25	9		
		5.25	15		大部良くなったが今一步。
N.S	66	前	2		
		1ヵ月後	4		
T.M	63	前	15		
		1ヵ月後	19		尿の出も良くなった。

【結論】

スコアーが改善したのは9名(69.2%)、不変3名(23.1%)、悪化1名(7.7%)であった。
悪化した1例はスコアーは下がったものの朝勃は増えている。

【考察】

EDの原因の90%以上が精神的ストレス、高脂血症、肝機能障害、肉体的疲労であり、花粉エキスは抗酸化作用物質、アミノ酸、微量金属元素(ミネラル)を含有しており血流を改善し自律神経を調整し、疲労回復させ、障害のおきた肝細胞を修復し、肝臓における女性ホルモンの分解を促し勃起力を増したものと思われる。

【安全性】

知見中、下痢になった人1名、軟便になった人1名いたが、特に体調不良を訴え服用を中止しなければならぬ者はいなかった。

2005.10.14